水土里ネット米沢平野

広報 米沢平野

第73号
令和２年11月27日

●誘引作業
　クリップ２つを使いトマトの枝を留めている。枝は１週間に30㎝伸びるので、留め位置を変えている。

「㈱平洲農園」にて

おもな内容

◆令和２年度臨時総代会開催／令和元年度事業報告／総代・役員の改選時期のお知らせ …… 2・3
◆令和元年度決算報告／財産目録 …… 4～6
◆令和２年度各種事業発注状況 …… 7
◆役職員合同研修会/吉村美栄子山形県知事現地視察／推進協議会要請活動 …… 8
◆災害訓練／収穫感謝祭／米澤米まつり／表彰 …… 9
◆シリーズ「維持管理組合紹介」／漏水事故 …… 10
◆シリーズ「農家の声」／豪雨災害 …… 11
◆「湧水を活かした地域づくりプロジェクト」／償還完了／決算関係書類の公表について …… 12
◆伝言板 …… 13
◆シリーズ「米沢平野管内スポット」／編集後記 …… 14

地　区　の　概　要

地区面積／8,921.7ha 組合員／5,801名

〒992-0012 米沢市金池五丁目9番5号
☎0238(23)0015
ＵＲＬ：https://www.yonezawa-heiya.or.jp
E-mail：yonehei@sanae.or.jp

令和2年度 第1回臨時総代会開催

令和2年9月9日(水)米沢市金池のグランドホクヨウにおいて、開催されました。
令和元年度の事業報告や令和2年度補正予算等が上程され、慎重審議の結果、全議案原案どおり可決されました。

議長　大野澤　進 総代

令和元年度事業報告

第一　地区及び組合員の状況

地　積　八、九二一・七ha
組合員　五、八〇一人

第二　事業の状況

一　土地改良施設の維持管理状況

本区の主要業務である施設の維持管理については、維持管理計画書に基づき関係法規、定款、諸規定を遵守し、機能維持と適切な保全管理を行い、直接管理している基幹水利施設は、施設の保守点検・整備補修の実施、支線水利施設は、維持管理組合へ管理を委託しており、良好に管理がなされている。

水窪ダム地点の気象及び水利状況については、平成三十年十二月中旬に根雪となり、積雪量は平年並であった。ダムの貯水状況は、融雪時期の気温が平年より高く推移し流入量も多く、ダムの間接流域施設である大小屋頭首工及び羽黒川頭首工からも計画的に導水を行い五月五日に満水とした。また、五月六日には農業用水の配水を開始している。用水開始後は五月から七月にかけての降水量が平年より多く、出穂期の用水及び九月十日のかんがい期終了日まで安定供給することができた。

施設管理の状況は、用水開始の五月六日と六月二十四日には東幹線用水路の漏水事故、五月七日には西幹線用水路で漏水事故が発生し、基幹水利施設ストックマネジメント事業（突発事故対応）及び県営基幹水利施設管理事業等を活用した早急な復旧工事を行い用水確保に努めた。また、十月十二日から十三日にかけての台風十九号豪雨災害については、十月十三日に本区の災害対策本部を設置し、施設の確認及び被害状況の把握を行った。被害施設の早期復旧に向け、国の災害復旧事業、県小規模農地等災害緊急復旧事業及び各市町独自の災害補助事業等を活用し復旧工事を実施している。

水窪ダム発電所及び竹森発電所は運用四年目を迎え、共用施設である幹線用水路の漏水事故の影響はあったものの、故障等のトラブルもなく発電がなされ、維持管理経費の軽減に寄与している。

施設管理の事業については、県営基幹水利施設管理事業の対象施設である水窪ダム、鬼面川頭首工、淞郷堰揚水機場とそれに関連する附帯施設の操作点検業務を山形県から受託し、良好な管理、整備強化を図った。また、平成十二年度から創設された国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）は第四期目（平成三十年度～令和四年度）を迎え、更なる管理の合理化や管理体制の整備がなされている。

二　土地改良事業の施行状況

(1)基幹水利施設管理事業
管理費
七一、七四七、七〇六円

(2)国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）
・強化支援費
七五、〇九九、九二三円

(3)土地改良施設維持管理適正化事業
・夏刈揚水機場整備補修工事（揚水機の整備補修）

(4)農業基盤整備促進事業（米沢平野七地区）
・第一工区工事（高野排水路：水路工）
・第二工区工事（窪田排水路：底版装工）
・第三工区工事（岩堰第二：ゲート更新）
・第四工区工事（尾長島堰導水路：水路工）
・測量設計業務（測量設計業務一式）

(5)基幹水利施設ストックマネジメント事業（突発事故対応）
・東幹線十五号分水工下流漏水対応工事　第一工区（漏水対応工及び舗装復旧工）
・東幹線十五号分水工下流漏水対応工事　第二工区（水路復旧工）

(6)農業水路等長寿命化・防災減災事業
・実施計画策定業務（実施計画策定業務一式）

(7)農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業経営体育成型）（計画設計事業）
・亀岡西地区農業競争力強化基盤整備事業計画設計策定業務（計画設計策定業務）
・莅高山地区農業競争力強化基盤整備事業計画設計策定業務（計画設計策定業務）
・千代田地区農業競争力強化基盤整備事業計画設計策定業務（計画設計策定業務）

三　県営事業の進捗状況

(1)農業競争力強化基盤整備事業（水利施設整備事業基幹水利施設整備型）
・黒井堰地区　八二・八％

(2)農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業経営体育成型）
・高山地区　一〇〇・〇％
・塩井地区　九一・三％

(3)農業競争力強化基盤整備事業（水利施設整備事業基幹水利施設保全型）
・屋代郷・淞郷堰一地区　九一・四％
・屋代郷一地区　六八・〇％
・米沢一地区　三一・九％
・両堰地区　九三・六％

(4)農村地域防災減災事業（ため池整備事業）
・蛭沢地区　七八・五％
・四ツ釜地区　九九・五％
・間坂地区　五九・五％

(5)農村地域防災減災事業（用排水施設等整備事業）
・大谷地地区　二六・七％

四　二十一世紀土地改良区創造運動の実施

農業農村を取り巻く情勢が著しく変貌する中で、土地改良区が果たす役割と機能を改めて見直し、農業用施設の重要性と多面的機能の啓蒙並びに水土里ネットの趣旨普及を図るため、創造運動に積極的に取り組んだ。

(1)広報「米沢平野」の発行
・平成三十一年四月、令和元年十一月

(2)米沢平野管内農業用水施設めぐり「水とくらしの歴史発見」の開催
・令和元年八月八日㈭
赤湯学童保育施設（三～六年生）三十二名

(3)ホームページによる情報の発信等
・土地改良区及び施設の紹介
・水窪ダム用水状況の報告
・各種行事のおしらせ、報告
・広報等の掲載

(4)PR活動の実施
・令和元年十月二十六日㈯
米沢市農業祭「米澤米まつり」に参加

五　多面的機能支払交付金

五十九活動組織について協定参加又は協定（確認書）締結を行い、環境保全及び農業用施設の整備に努める活動の実施に関し、助言又は技術的な指導をしている。また、施設の長寿命化のための活動により造成された土地改良財産に関し、施工計画並びに実績報告を以て財産譲与契約を締結している。

第三　事務の経過

○会議

総代会	臨時	一回
	通常	一回
理事会		六回
監事会		八回

（定期監査二回）

○各委員会

総務委員会	三回
水利整備委員会	四回
維持管理委員会	三回
未収対策委員会	二回

○その他

災害対策本部員会議　三回
指導監査　二回

土地改良法施行規則第二十一条の四第一項第三号の規定に基づき、「土地改良区会計指導監査契約」を締結のうえ山形県土地改良事業団体連合会の会計指導員による指導監査を受けた。

令和２年度は任期満了に伴う総代・役員の改選の時期です!!

令和２年度は、任期満了に伴う総代及び役員（理事、監事）の改選時期にあたります。

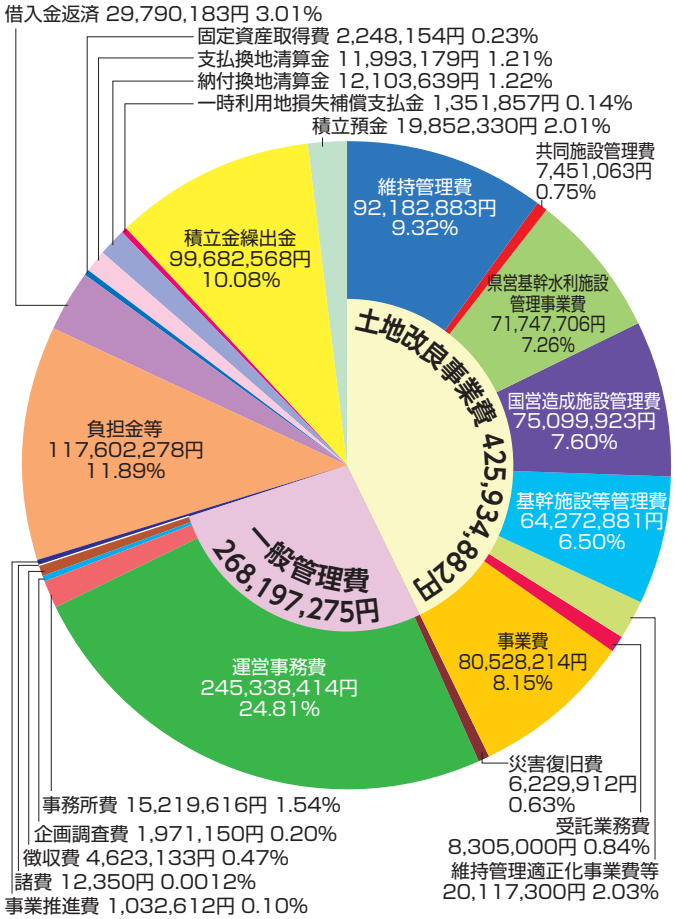
■総代の定数　65名　■理事の定数　15名　■監事の定数　３名
◆総代の任期満了日　令和３年３月１日
◆役員の任期満了日　令和３年３月30日
◆総代及び役員の任期　４年

令和元年度　決　　算

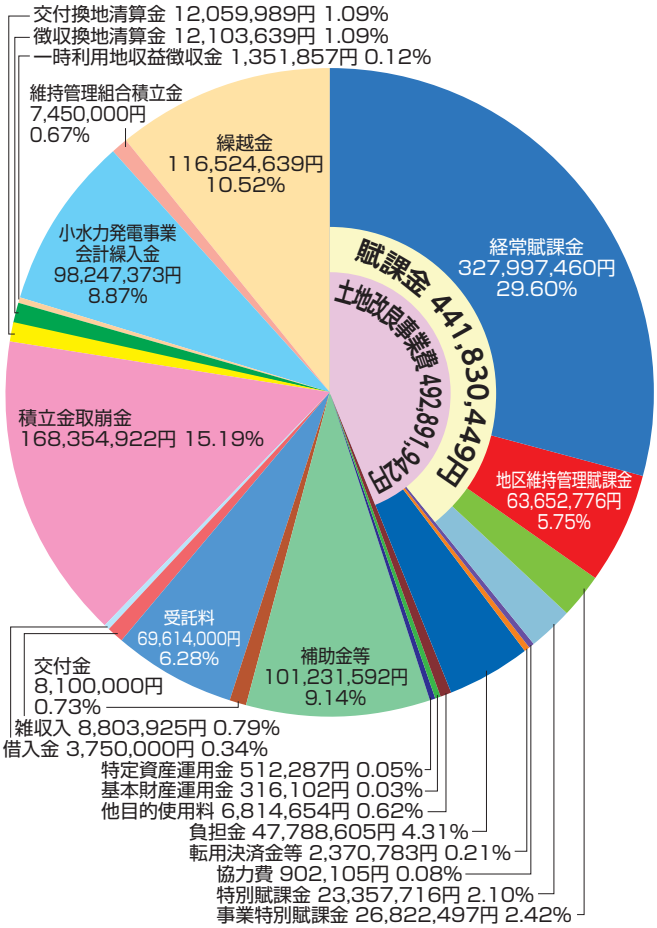
一般会計

収入合計　1,108,126,921円
支出合計　988,756,345円
差引残額　119,370,576円(次年度へ繰越)

支　出



収　入



一般会計決算内訳書

(単位：円)

番号	会計区分	収入	支出	差引残額
1	一般(旧一般会計)	853,011,636	776,993,950	76,017,686
2	水窪ダム等共同施設維持管理費	86,753,510	75,412,999	11,340,511
3	県営基幹水利施設管理事業(米沢平野1)	54,134,266	51,125,306	3,008,960
4	県営基幹水利施設管理事業(米沢平野2)	9,334,986	8,657,211	677,775
5	県営基幹水利施設管理事業(米沢平野3)	27,187,066	25,377,765	1,809,301
6	国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)	75,633,049	75,129,923	503,126
7	県営経営体育成事業高山地区	35,071,784	29,168,078	5,903,706
8	県営農業競争力強化基盤整備事業塩井地区	32,064,052	25,411,871	6,652,181
9	農業基盤整備促進事業	20,387,567	20,001,300	386,267
10	県営農業競争力強化基盤整備事業亀岡西地区	13,510,652	5,468,854	8,041,798
11	県営農業競争力強化基盤整備事業浅川地区	2,279,360	413,458	1,865,902
12	県営農業競争力強化基盤整備事業荢高山地区	16,679,789	14,246,924	2,432,865
13	県営農業競争力強化基盤整備事業千代田地区	7,298,486	6,567,988	730,498
計(13区分)		1,233,346,203 (1,108,126,921)	1,113,975,627 (988,756,345)	119,370,576 (119,370,576)

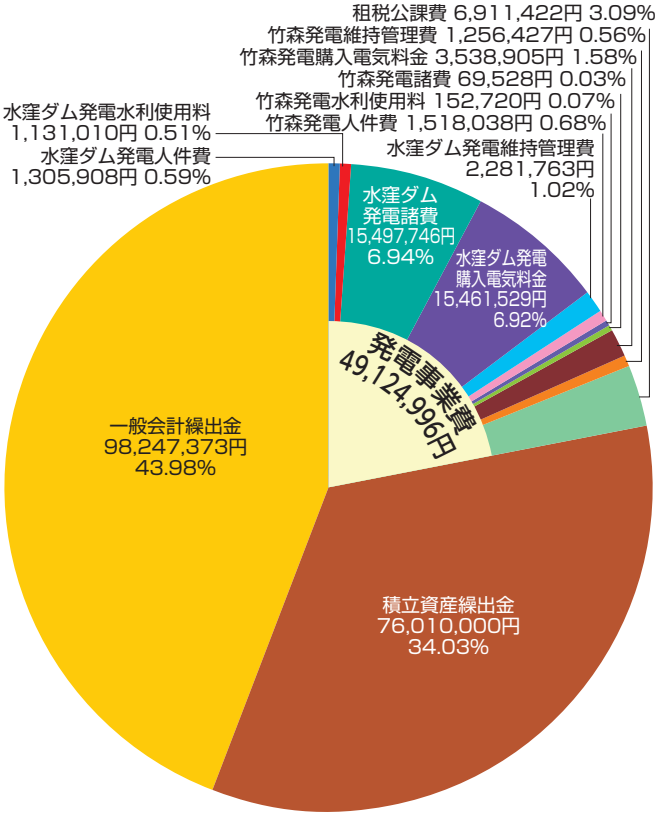
(区分間繰入出除く)

令和元年度　決　　算

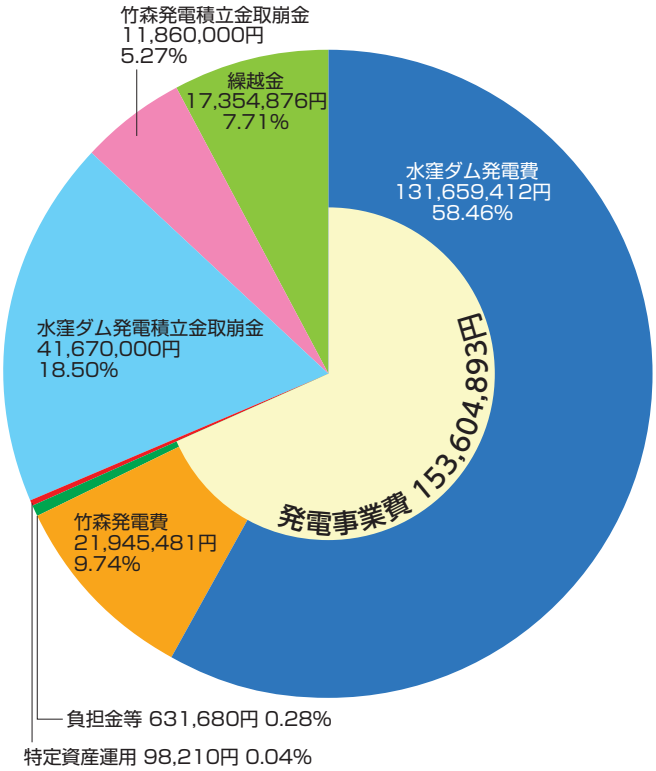
特別会計　小水力発電事業

収入合計　225,219,659円
支出合計　223,382,369円
差引残額　1,837,290円（次年度へ繰越）

支　出



収　入



令和元年度　賦課金収納実績

（単位：金額：円、収納率：%）

項目・地区	1期賦課額	収納額	収納率	未収額
経常賦課金	331,110,483	327,997,460	99.0	3,113,023
維持管理賦課金	64,437,456	63,652,776	98.7	784,680
万世地区	1,439,090	1,437,583	99.8	1,507
梓川地区	2,225,945	2,195,675	98.6	30,270
羽黒川地区	1,467,905	1,452,834	98.9	15,071
片子大堰地区	360,557	352,773	97.8	7,784
山上地区	1,036,015	1,031,503	99.5	4,512
米沢南部地区	2,517,928	2,477,688	98.4	40,240
塩井地区	3,136,921	3,136,921	100.0	0
窪田地区	2,835,175	2,835,175	100.0	0
四ヶ村堰地区	7,912,719	7,909,271	99.9	3,448
黒井堰地区	3,153,927	3,151,662	99.9	2,265
糠野目地区	1,896,023	1,860,630	98.1	35,393
屋代郷地区	12,614,863	12,014,596	95.2	600,267
淞郷堰地区	8,449,834	8,431,566	99.7	18,268
両堰地区	6,804,551	6,792,023	99.8	12,528
川西東部地区	8,586,003	8,572,876	99.8	13,127
1期合計	395,547,939	391,650,236	99.0	3,897,703

項目・地区	2期賦課額	収納額	収納率	未収額
事業特別賦課金	28,161,939	26,822,497	95.2	1,339,442
屋代郷地区	22,992,955	21,666,038	94.2	1,326,917
前谷地地区	405,274	405,274	100.0	0
桐原地区	993,207	993,207	100.0	0
山上地区	3,770,503	3,757,978	99.6	12,525
特別賦課金	23,446,456	23,357,716	99.6	88,740
高山地区	4,268,477	4,268,477	100.0	0
塩井地区	465,548	465,548	100.0	0
亀岡西地区	4,461,346	4,461,346	100.0	0
浅川地区	2,219,667	2,219,667	100.0	0
莅高山地区	7,126,192	7,126,192	100.0	0
千代田地区	4,905,226	4,816,486	98.1	88,740
2期合計	51,608,395	50,180,213	97.2	1,428,182
総計	447,156,334	441,830,449	98.8	5,325,885

財　産　目　録（令和２年３月31日現在）

（単位：円）

資　産　の　部		負　債　の　部	
流動資産	**220,283,639**	**流動負債**	**93,749,888**
現金及び預金	148,045,043	未払金	86,669,982
小口現金	150,000	預り金	859,006
普通預金	147,895,043	預り保証金	2,105,000
短期未収賦課金等	5,325,885	未払消費税	4,115,900
短期未収金	66,912,711	**固定負債**	**701,323,983**
固定資産	**2,046,759,032**	公庫資金等長期借入金	103,494,534
有形固定資産	249,522,491	適正化事業拠出金未払金	462,000
無形固定資産	545,049,598	総代役員退任慰労金引当金	7,754,000
その他固定資産	1,252,186,943	職員退職給与引当金	171,910,355
基本財産	522,455,445	維持管理組合引当金	268,306,899
特定資産	722,001,752	地区除外等決済金引当金	97,636,195
その他資産	7,729,746	修繕引当金	51,760,000
資　産　合　計	**2,267,042,671**	**負　債　合　計**	**795,073,871**
		正味財産合計	**1,471,968,800**
		負債及び正味財産合計	**2,267,042,671**

貸借対照表総括表（令和２年３月31日現在）

（単位：円）

科　　目	一般会計	小水力会計	内部取引消去	合計
Ⅰ　資産の部				
1　流動資産	199,543,417	106,987,595	△86,247,373	220,283,639
現金及び預金	54,242,406	93,802,637	0	148,045,043
短期未収賦課金等	5,325,885	0	0	5,325,885
短期未収金	139,975,126	13,184,958	△86,247,373	66,912,711
2　固定資産	1,883,772,515	162,986,517	0	2,046,759,032
(1)　有形固定資産	249,422,750	99,741	0	249,522,491
所有土地改良施設	242,375,514	0	0	242,375,514
車両運搬具	432,461	0	0	432,461
工具器具等	6,614,775	99,741	0	6,714,516
(2)　無形固定資産	528,692,822	16,356,776	0	545,049,598
受託土地改良施設使用収益権	528,692,822	16,356,776	0	545,049,598
(3)　その他固定資産	1,105,656,943	146,530,000	0	1,252,186,943
基本財産	522,455,445	0	0	522,455,445
特定資産	575,471,752	146,530,000	0	722,001,752
その他資産	7,729,746	0	0	7,729,746
資　産　合　計	**2,083,315,932**	**269,974,112**	**△86,247,373**	**2,267,042,671**
Ⅱ　負債の部				
1　流動負債	74,846,956	105,150,305	△86,247,373	93,749,888
未払金	70,710,472	102,206,883	△86,247,373	86,669,982
預り金	859,006	0	0	859,006
預り保証金	2,105,000	0	0	2,105,000
未払消費税	1,172,478	2,943,422	0	4,115,900
2　固定負債	649,563,983	51,760,000	0	701,323,983
公庫資金等長期借入金	103,494,534	0	0	103,494,534
適正化事業拠出金未払金	462,000	0	0	462,000
総代役員退任慰労金引当金	7,754,000	0	0	7,754,000
職員退職給与引当金	171,910,355	0	0	171,910,355
維持管理組合引当金	268,306,899	0	0	268,306,899
地区除外等決済金引当金	97,636,195	0	0	97,636,195
修繕引当金	0	51,760,000	0	51,760,000
負　債　合　計	**724,410,939**	**156,910,305**	**△86,247,373**	**795,073,871**
Ⅲ　正味財産の部				
1　指定正味財産	0	0	0	0
2　一般正味財産	1,358,904,993	113,063,807	0	1,471,968,800
正味財産合計	**1,358,904,993**	**113,063,807**	**0**	**1,471,968,800**
負債及び正味財産合計	**2,083,315,932**	**269,974,112**	**△86,247,373**	**2,267,042,671**

令和２年度　各種事業発注状況

R 2.10.19現在

事業名	工事名	工事場所	工事量	工期 着工	工期 完成
土地改良施設維持管理適正化事業	令和２年度 土地改良施設維持管理適正化事業（第43期生） 蛭沢幹線用水路整備補修工事	高畠町大字竹森地内	目地補修　L=991.2m 用水路再設置　L=30.1m	R2.9.25	R2.12.14
	令和２年度 土地改良施設維持管理適正化事業（第43期生） 蛭沢放水路整備補修工事	高畠町大字高畠地内	用水路整備補修　L=125.4m	R2.9.25	R3.2.26
	令和２年度 土地改良施設維持管理適正化事業（第40期生） 沖田排水路整備補修工事	高畠町大字夏茂元津久茂地内　他	排水路整備補修　L=284.15m	R2.9.25	R3.2.26
	令和２年度 土地改良施設維持管理適正化事業（第44期生） 馬橋用水路整備補修工事	米沢市大字上新田地内	用水路整備補修　L=89.7m	R2.9.25	R2.12.14
基幹水利施設ストックマネジメント事業（突発事故対応）	令和２年度 基幹水利施設ストックマネジメント事業 （突発事故対応）窪田送水路漏水対応工事	米沢市窪田町藤泉地内	管水路復旧工　１式	R2.7.2	R2.7.17
農村地域防災減災事業（農業水利施設危機管理対策事業）	令和元年度（明許繰越） 農業水利施設危機管理対策事業 屋代郷地区工事	高畠町大字高畠地内　他	転落防止柵　L=218.0m 転落防止蓋　L= 85.0m	R2.9.25	R2.12.14
	令和元年度（明許繰越） 農業水利施設危機管理対策事業 両堰地区工事	米沢市六郷町轟地内　他	転落防止柵　L=344.0m 転落防止蓋　L=251.5m	R2.9.25	R2.12.14
	令和元年度（明許繰越） 農業水利施設危機管理対策事業 川西東部地区工事	川西町大字洲島地内	転落防止蓋　L=90.9m	R2.9.25	R2.12.14
農業基盤整備促進事業（国事業名：農地耕作条件改善事業）	令和２年度 米沢平野８地区農地耕作条件改善事業 第１工区工事	米沢市六郷町長橋地内	高野排水路（幹線） 水路改修　L=47.7m	R2.9.25	R2.12.14
	令和２年度 米沢平野８地区農地耕作条件改善事業 第３工区工事	米沢市窪田町窪田地内	窪田用水路（幹線） ゲート更新　２基	R2.9.25	R2.12.14
	令和２年度 米沢平野８地区農地耕作条件改善事業 第４工区工事	川西町大字吉田地内	樽川排水路（幹線） ゲート補修他　１式	R2.9.25	R2.12.14
区単独事業	令和２年度 県営高山地区ほ場整備事業補完整備工事	川西町大字高山地内	水路工　１式	R2.9.25	R2.12.14

事業名	業務名	業務場所	業務量	工期 着手	工期 完了
県営基幹水利施設管理事業	令和２年度 県営基幹水利施設管理事業 水窪ダム管理施設点検整備業務	米沢市大字三沢地内　他	ダム管理設備・用水管理設備保守点検　１式	R2.4.1	R2.7.31
	令和２年度 県営基幹水利施設管理事業 共同管理施設水窪ダムゲート他設備点検業務	米沢市大字三沢地内　他	ゲート他点検整備　１式	R2.4.1	R2.8.26
	令和２年度 県営基幹水利施設管理事業 水窪ダム管理事務所内管理補助業務	米沢市大字三沢地内	管理補助業務　１式	R2.4.1	R3.3.31
	令和２年度 県営基幹水利施設管理事業 水窪ダム等除草業務	米沢市大字三沢地内　他	草刈面積　A＝22,930㎡	R2.6.19	R2.9.18
国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）	令和２年度 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型） 施設ゲート設備等点検業務	米沢市、南陽市、高畠町地内	ゲート他点検整備　１式	R2.4.1	R2.7.31
	令和２年度 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型） 米沢平野通信設備保守点検業務	米沢市、高畠町地内	取水通信設備保守点検　１式	R2.4.1	R2.7.31
	令和２年度 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型） 基幹施設用水路除草業務	米沢市大字舘山地内　他	草刈面積　A＝70,960㎡	R2.6.19	R2.9.18
農業基盤整備促進事業（国事業名：農地耕作条件改善事業）	令和２年度 米沢平野８地区農地耕作条件改善事業 設計業務	川西町大字吉田地内	設計業務　１式	R2.7.27	R2.12.7
水利施設等保全高度化事業（実施計画策定事業）	令和２年度 淞郷堰地区水利施設等保全高度化事業 実施計画策定業務	南陽市宮崎地内　他	実施計画策定業務　１式	R2.7.27	R3.3.1
農地整備事業（経営体育成型）（計画設計事業）	令和２年度 浅川地区経営体育成促進換地等調整業務	米沢市大字浅川地内	換地等調整業務　１式	R2.7.27	R3.3.1
	令和２年度 莅高山地区農業競争力強化基盤整備事業 計画設計策定業務	川西町大字高山地内　他	計画設計策定業務　１式	R2.7.27	R3.3.1
	令和２年度 千代田地区現況地形図作成業務	高畠町大字夏茂元津久茂地内　他	地形図作成業務　１式	R2.7.27	R3.3.1
県営ほ場整備事業	令和元年度（明許繰越） 塩井地区経営体育成基盤整備事業 換地業務	米沢市塩井町宮井地内	換地業務　１式	R2.7.27	R3.3.1
	令和２年度 亀岡西１期地区低コスト・高付加価値化基盤整備事業 換地業務	高畠町大字露藤地内	換地業務　１式	R2.7.27	R3.3.1
区単独調査業務	令和２年度 営農管理用水調査業務	米沢市塩井町塩野地内　他	用水調査業務　１式	R2.4.27	R2.10.30

第12回役職員合同研修会

ー講　演ー

「土地改良区を巡る情勢と今後の取組みについて」
…… 山形県土地改良事業団体連合会
専務理事　渡部 藤左衛門 氏

ー意見発表ー

「土地改良区が発注する工事と業務」
… 水利整備課維持管理係
江口　誠主任

「ほ場整備事業の流れについて」
…… 水利整備課事業係
佐藤 真人主任

令和２年８月５日㈬グランドホクヨウにおいて、第12回役職員合同研修会を行いました。

当研修会は役職員の資質向上を目的とした研修であり、今年はコロナの影響を検討した上での開催となりました。

はじめに山形県土地改良事業団体連合会専務理事の渡部藤左衛門氏を講師にお迎えし、大変勉強になるご講演をいただきました。

続いて職員２名による意見発表が行われました。各々日々携わる業務についてとても分かり易く纏めた内容となっており、業務内容に理解を深めることが出来ました。

研修風景

＊＊

～吉村美栄子山形県知事　現地視察～

令和２年８月12日㈬吉村美栄子県知事をはじめ、山形県庁より髙橋農林水産部長、小谷農村計画課長、そして置賜総合支庁の渡辺支庁長の皆様が、当土地改良区の小水力発電施設である水窪ダム発電所を視察されました。

吉村県知事はじめ皆様には、当土地改良区の佐貝理事長をはじめ担当職員より、水窪ダム発電所及び水窪ダムの概要並びに施設の役割や仕組み、操作等について説明をさせていただき、小水力発電施設内を見ていただきました。現場を視察していただいたことで、更にご理解を深めていただけた貴重な機会となりました。

視察風景

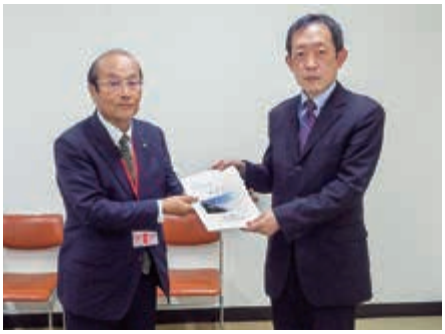
視察風景

水窪ダム発電所前にて

＊＊

～米沢平野農業水利事業推進協議会 要請活動～

令和２年10月15日㈭二市二町で組織している米沢平野農業水利事業推進協議会で、当土地改良区佐貝全健理事長を代表として、高橋伸一米沢市農林課長、寒河江英明南陽市農村森林整備主幹、二宮弘明高畠町農林振興課長、内谷新悟川西町農地林務課長、当土地改良区より小林一人事務局長、髙橋正則水利整備課長が、東北農政局に出向き、「水田の汎用化や畑地化などのほ場整備事業の推進」及び「農業水利施設の長寿命化や耐震化対策事業の推進」並びに「防災・減災対策事業の推進」について要請を行って参りました。



東北農政局にて、
内田幸雄東北農政局長と佐貝全健理事長

東北農政局にて、
内田幸雄東北農政局長へ要請書提出

東北農政局　内田幸雄局長（中央）
小林博行次長（左）、原川忠典農村振興部長（右）

万が一に備えて 災害訓練

現地本部会議

令和２年10月８日㈭水窪ダム災害訓練を実施しました。

刈安川沿いの国道13号線でタンクローリー車の横転事故が発生し、積載していた燃料（油）が流れ出しており、ダム湖への流入が懸念されることを想定し行われました。

災害発生の連絡を受け、置賜総合支庁産業経済部長の判断で置賜総合支庁に水窪ダム災害対策本部を設置、また水窪ダム管理事務所に水窪ダム災害対策現地本部を設置して、対策本部情報連絡班、現地本部対策班（総務班、情報連絡班、調査復旧班）の４班体制でオイルフェンス設置等の対応と報告訓練を行いました。

係船台　オイルフェンス準備

東西分水工にオイルフェンス設置

ダムボート出航

ダム取水塔にオイルフェンス設置

収穫感謝祭

令和２年10月19日㈪水窪ダム収穫感謝祭を執り行いました。

今年は昨冬の小雪の影響で水不足が懸念される為、早めにダムに貯水する対策を講じました。対策が功を奏して５月６日に無事に満水を迎えることができました。しかし、その後の水不足や７月28日の大雨被害を受けたことで、稲の生育等大変心配されましたが、稲は何とか順調に生育し、組合員皆様のおかげを持ちまして無事に実りの秋を迎えることができました。

水窪ダムにてご祈祷

第33回「米澤米まつり」へ参加
21世紀創造運動～PR活動～

令和２年10月31日㈯21世紀土地改良区創造運動の一環として、今年も「米澤米まつり」に参加しました。

水窪ダムパンフレット及びダムカード等の配布、アンケートを実施しました。そして、今年も大変好評を得ている子供を対象とした水ヨーヨー釣りを企画し水に親しんでもらい、水の大切さや土地改良区の役割、活動について幅広い世代の地域の方々にＰＲすることができました。

組合員の皆様や一般の方々にさらに広く知っていただけるよう、ＰＲ活動を続けていきたいと思います。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

表彰

令和２年11月４日㈬第39回山形県土地改良大会が山形国際交流プラザで開催され、吉村美栄子山形県知事より、長年にわたり土地改良事業の推進に努め農業の発展に尽力された功績に対し、当土地改良区より長谷部福太郎副理事長と我妻武宣庶務担当理事が表彰状を授与されました。

おめでとうございます

副理事長　長谷部福太郎　　庶務担当理事　我妻　武宣

維持管理組合紹介 No.15

屋代郷維持管理組合

シリーズ「維持管理組合紹介」十五回目は屋代郷維持管理組合を紹介します。土地改良区では、十六の維持管理組合が、支線部分までの適正な水管理において最も重要な役割を担っています。

地区面積	1206.9ha
組合員数	858名
役員数	62名
事務局員	1名

三役研修

屋代郷維持管理組合の区域は、高畠町の東北部から南陽市赤湯地区にかけての地域で、蛭沢湖から屋代川の両側を西へ町の中央部を取り込み、東北中央道を境に大谷地地帯を望み、白竜湖にかけて広がる地域です。

旧屋代郷土地改良区が前身であり、特に大谷地地帯は、多くの先人達が苦労を重ねて築き上げてきた地域であります。また、昨年には東北中央道が開通し、大谷地地帯を通行するという国内でも極めて難工事だったそうです。区域が広範囲な為、五地区に区分けをし、事業運営を行っています。第一高畠地区、第二屋代北部地区、第三砂押地区、第四赤湯地区、第五川沼地区となり、各々組合長を置いています。

地域内の水源は、蛭沢溜池、屋代川からの八ヶ所の堰と水窪ダム東幹線十六号から十八号分水工、東幹線末端放流工、大谷地排水門閉鎖による揚水などが主で、幹線、準幹線、支線の揚水機が多数稼働し対応しています。また、各地区ごとに多面的機能支払交付金事業に取り組んでおり、素掘り水路からコンクリート水路への更新及び揚水機の補修並びに農道整備、そして共同作業による水路泥上げ等の維持活動を行い、組合の負担軽減になっていると考えています。

毎年四月二十三日には、組合の三役と理事で、地区内の耕地整理事業により出土した地蔵様を地蔵尊として祀り、水神祭を兼ねて地域内の豊穣と農作業の安全を祈願しております。

近年は、猛暑、小雨、集中豪雨など気象変動が激しく、今年の七月二十八日の大雨と昨年の台風十九号による豪雨で、当組合でも水路や堰、揚水機などの施設に多大な被害を受け、山形県及び南陽市並びに高畠町、米沢平野土地改良区より支援を受け復旧出来たことに感謝しております。この様な災害に維持管理の大変さを痛感しているところです。

最後に、年々少子・高齢化が進む中、農業者の減少と共に組合員数の減少という問題があります。農地の維持管理を通して次の世代へと、農業という職業と農地を引き継ぐ事を地域の方々と考えていく事が必要だと考えます。

（組合長　我妻　隆　記）

幹線用水路で漏水事故

今年も、国営造成施設の幹線用水路で漏水事故が発生しました。

六月二十八日に漏水が発生した窪田送水路の復旧については、関係機関と協議を行いながら調査及び復旧工事を実施しました。また、用水区域を管理する窪田維持管理組合役員の方々より、管内の用水確保や調整、関係組合員への連絡調整など、ご協力をいただき大変ありがとうございました。

漏水事故が昨年に続き多発してる現状について、十月十五日に東北農政局への要請活動を行った際、要請事項として「国営造成施設における点検・整備と漏水事故の対応強化」について、直接、東北農政局長へ強く要請をいたしました。

（関連記事八ページ）

窪田送水路 漏水事故
(米沢市窪田町藤泉地内)

漏水した送水管（φ600）の復旧状況

窪田維持管理組合役員の方々による
水路に流入した土砂撤去の作業状況

農家の声 No.20

シリーズ「農家の声」第二十回目は、川西町大字洲島の内山雄次郎さんをご紹介します。
内山さんは当土地改良区の川西東部地区総代をされており、他にも川西町の元農業委員、現在は推進委員として川西東部地区の農業の発展に貢献されています。
また、「川西東部WCS生産組合」の局長もされています。
これからの農業についてお話を伺いました。

■内山雄次郎さんのプロフィール

農家の次男として生まれ、学生の頃から自ら進んで家業である農業の手伝いをされてきました。
その後ご結婚で農家に婿入りをされ、勤めながら農業を手伝っていましたが、十年前から専業農家となり、現在はご家族全員で農業に従事されています。

現在の経営規模及び内容についてお聞きしました

稲作と和牛の繁殖経営をしています。個人では稲作の総面積十六町歩で、減反対策としてホールクロップサイレージ用の稲を作っており、内訳は主食米十町歩、WCS用稲三町歩、他は牧草です。飼っている牛は親牛が六頭で、一年で四～五頭くらい子牛が生まれます。この子牛は二月生まれで、これから離乳して十一月に出荷します。

親牛（ふくひめ2）

川西東部WCS生産組合では吉島地区全域で一般品種の「はえぬき」等を使用してWCSを四十町歩ほど作っています。

農業の問題点について

一番問題になるのはやはり後継者がいないことです。私の住む中三ッ井部落では四十三軒中、農家が十数軒いますが高齢者が多く私が一番若い。農業を継ぐ人がおらず困っている農家が多いのが現状で、後継者が出来やすい環境づくりが必要だと思います。子供は親の一生懸命に米作りをしている姿を間近に見て育っていても、つい親がこぼしてしまう「農家は儲からない」の口癖を聞いていれば、子供は「儲からないのであれば農業はしない」という考えになるのではないのでしょうか。

私は、独立して家から離れている息子や遠方にいる娘が手伝いに来てくれた時は、ちゃんと日当を支払います。そうでないと手伝ってもらえなくなる（笑）。

後継者がいないことで田畑はどうなるのでしょうか？

農業委員会でも問題になっており、まず借り手がいない。また買う人もいない。そして、稲作をやめる人が増えているので、困ったことにこの先どうなるのか分からないとしか言いようがないです。

これからは、例えば法人を立ち上げるなど周りの状況を変えていかないと地元の土地も守れないのではないかと思います。

ホールクロップ作り

これからの農業に就く人へメッセージをお願いします

ただ単に農業したいだけでなく、就農する限りは自分の生活が成り立つように儲かる農業をして欲しい。農家で成り立っていければ後継者も出来るはずだと思います。しかし、実際はなかなか理想通りにはなりません。

私の場合、自分が兼業していた頃は牛の仕事をするつもりがなく、米作りくらいは何とかなるかと思っていたが、いざ専業となると、食べていかないといけないので牛の繁殖も始めました。米作りだけでいくとしたら相当な面積をしなければなりません。でも、農業の大変なところばかり見ないで、やりがいや楽しみを見い出して頑張って欲しいと思います。

2年続けての豪雨災害

昨年の十月十二日から十三日にかけて台風十九号豪雨、そして今年は、七月二十八日から二十九日にかけ東北地方に梅雨前線が停滞し豪雨となり、まだ、令和元年度の災害復旧工事が完了していない中で、二年続けての豪雨災害が発生しました。近年は、地球温暖化の影響もあり、これまでの雨の降り方とは異なり、予測できない気象が現れています。

白竜湖周辺の溢水状況
（赤湯十分一山より　R2.7.29）

梓川維持管理組合管内の
岡堰導水路決壊状況（R元.10.13）

当土地改良区においては、大雨など気象に関する情報の収集や提供を受け、事前に水窪ダムの調整や各頭首工、揚水機場の取水を停止する対応などをして大雨に備えました。また、佐貝理事長を本部長とする災害対策本部をいち早く設置し、管内各施設の点検及び状況を確認しています。

この度の豪雨で、被災した施設の復旧については、実態を踏まえつつ各維持管理組合及び関係機関との調整、迅速かつ的確な復旧方法の検討を行い、災害復旧事業等を最大限活用した復旧に取り組んでいます。

災害対策本部長現場視察

大谷地排水路の流木等状況
（R2.7.29）

下須川排水路周辺の内水氾濫状況
（R元.10.13）

農業水利施設の豪雨被害状況一覧（令和元年、2年）

令和2年7月豪雨災害

関係市町	件数
米沢市管内	5
南陽市管内	22
高畠町管内	19
川西町管内	0
合計	46

令和元年台風19号豪雨災害

関係市町	件数
米沢市管内	63
南陽市管内	16
高畠町管内	38
川西町管内	0
合計	117

湧水を活かした地域づくりプロジェクト
湧水の今を徹底調査！

現在、令和元年度に米沢市六郷地内の「館清水」が「里の名水・やまがた百選」に選定されたことを契機に地域住民が主体となり「湧水を活用した地域づくり」を進めています。

県立置賜農業高等学校
木村先生と環境系統２年生

令和２年９月３日㈭山形県置賜総合支庁産業経済部農村計画課が、『元気な地域づくりプロジェクト支援事業×飛び出せ高校生技術実習地域協同事業』と『置賜地域農業農村整備事業関係職員研修』をコラボ企画し、地元の堀金地域資源保全隊、山形県置賜総合支庁、山形県立置賜農業高等学校、米沢平野土地改良区とで湧水を活かした地域づくりプロジェクトの事前準備として「館清水」の徹底調査を行いました。

湧水調査班、樹木・植物調査班、生き物調査班と３班体制に分かれて、各々のアドバイザーの指導のもと「館清水」の歴史的背景に触れながら現況を調査することができ大変貴重な体験となりました。

『生き物調査』
置賜地域環境情報協議会委員（魚類）
平　敏美氏との調査風景

『樹木・植物調査』
山形県ふるさと保全指導員（森林インストラクター・樹木医）
丸山　久氏との調査風景

『湧水調査』
山形県環境科学研究センター　環境企画部
浦安　功主任専門研究員との調査風景

～ 償 還 完 了 ～

関係組合員の皆様には厳しい農業情勢が続く中、長年にわたりご理解とご協力を賜り心より感謝申しあげます。

令和元年度をもちまして、下記の３事業地区（全７地区）の事業費償還が完済となりました。誠にありがとうございました。

○上新田地区県営農業競争力強化基盤整備事業

○米沢地区県営水利施設整備事業（水利区域内農地集積促進型）
・八ヶ代地区　・窪田東部地区

○屋代郷地区県営水利施設整備事業（水利区域内農地集積促進型）
・塩森地区　・砂押地区　・日向地区　・前谷地地区

※事業地区内全ての地区完済後のお知らせとさせていただきました。

決算関係書類の公表について

土地改良法第29条の２第４項並びに土地改良法施行規則第25条の４第１項第１号の規定により、決算関係書類を公表しています。ご希望の方は、閲覧申請書に必要事項をご記入・押印いただきますと、閲覧することが出来ます。

閲覧場所　米沢平野土地改良区事務所
閲覧時間　午前８時30分から午後５時00分（土日祝日を除く）

伝言板

賦課金等の各支払いは「コンビニでの納付が可能」となっておりますので、下記までお問い合わせください。
財務課賦課徴収係　TEL 0238-23-0015

土地改良区の賦課金は、各施設の維持管理費や各事業の償還金に充当する重要な運営費です。賦課金を滞納されますと、土地改良区の運営に支障を来し、また、組合員間に不公平が生じてしまいますので、まだお済みでない方は、早期に納入願います。

☆滞納処分（財産差押）の実施

賦課金の滞納は土地改良法に基づき、地方税の滞納処分の例に依り県知事の認可を受けて理事が処分執行することになります。

滞納者には電話連絡・戸別訪問を行いながら納入の督励をしておりますが、それでも難しい場合は、財産の差押に踏み切っております。

納付のご相談は土地改良区事務所にて随時対応しておりますので、ご相談ください。

届出がなければ賦課台帳は変更されませんのでご注意下さい!!

こんな時は必ず届出をお願いします！

◆組合員の資格等に変更があったとき（組合員資格得喪通知書提出）

公共機関（市町、農業委員会、法務局等）及び農協等の手続きだけでは、土地改良区の組合員名簿及び土地台帳等は変更されません。移動がありましたら、速やかに届出してください。

◎農地の移動（売買、賃貸借、交換等）　◎農業者年金受給等による経営移譲
◎生前一括贈与または死亡による名義変更　◎住所の変更

滞納賦課金は新資格者が負担

農地の移動（売買等）において、その土地に滞納賦課金がある場合、土地改良法の規定により、新資格者に滞納賦課金が承継され支払わなければならなくなりますのでご注意ください。

◆農地を転用するとき（地区除外申請書、農地転用等の通知書及び意見書交付願提出）

◎公共買収による転用（道路、水路）　◎田から宅地等への転用（一部畑賦課地域も同様）
※上記の場合、決済金の納入が必要です。

決済金とは？

※農地転用や公共事業による買収で、地区除外される場合は『決済金』納付が必要となります。
『決済金』徴収の趣旨は、残存農地が将来過重負担にならないように土地改良法第42条及び地区除外処理規程により、事業負担金及び長期負債借入金ならびに施設の維持管理費等の負担額を一時払いをもって決済していただくものです。
決済金が未納の場合は賦課金が引き続き賦課されますので、必ず届出及び納付してくださるようお願いします。

◆土地改良施設等を使用したいとき（他目的使用申請書提出）

◎雨水排水や合併浄化槽処理水の放流　◎土地改良施設用地を出入り口等他目的に使用

◆自動口座振替（賦課金自動継続口座振替依頼書提出）

◎賦課金口座振替依頼、振替口座の変更
※届出用紙は改良区に設置しているほか、ホームページよりダウンロードできます。また、ご希望により郵送致しますので財務課賦課徴収係へご連絡願います。

米沢平野管内スポット

～山形県一美味しいトマトを目指します～

『㈱平洲農園』

代表取締役社長
東　宣雄さん

今回は、夏野菜の代表的な「トマト」にスポットをあて、川西町大字尾長島で「カゴメブランドトマト」を十三棟（一棟：十四ｍ×百二十ｍ）の温室で大規模に栽培し出荷している㈱平洲農園」をご紹介します。取材時に、「先日、地元の小学校の給食に使っていただけたらと穫れたトマトを提供したところ、給食でトマトを食べた小学生に大変喜ばれ、お手紙をいただきました。」と笑顔で話しをされる代表取締役社長の東宣雄さんにお話を伺いました。

■トマト作りをはじめたきっかけについて

私は高知県の農家に生まれました。両親は稲作以外にもイ草作りや蚕業等もしていました。自分が若い頃は農業に対して嫌なイメージしか持てなかったので、正直、親の背中を見て「農業をやろう」と思った訳ではありません。私は以前、農業とは関係ない仕事に就いておりましたが、最新鋭の農業に魅力を感じて「やってみよう」と思いこの業界に入りました。

■会社の規模について

平成十五年から高知県でのトマト栽培を皮切りに、一ヶ所目、二ヶ所目と合わせて五・六haの農園では、いずれも「カゴメブランドトマト」を出荷しております。

ここ「平洲農園」は三ヶ所目になり、敷地面積は二・二ha、苗数は八二、五〇〇本、収穫量は四五〇tになります。

今は夏を越え収量も落ち着いてきたので、社員数は八十人弱ですが、およそ七月からお盆過ぎ位までが最盛期となり、収穫量が多くなる時期は増員し百二十人体制で対応します。

■トマトの栽培方法について

東北地方ならではの気象環境があるため、四月中旬に定植し、六月下旬から出荷が始まり、十一月末を目処に栽培を続けていきます。

トマトは温室の中で土の代わりに海外から輸入したヤシ殻に苗を植え養液を与える水耕栽培をしています。畑のように土を使わないので連作障害等はありません。

花は咲いても受粉しないとトマトの実がついてくれないので、人工的に受粉させるかハチを使って自然受粉するやり方をしています。八万二千株の花全てに人工的な受粉をさせることはとても大変なので、基本的に日本在来種のクロマルハナバチを飛ばして受粉をさせています。農薬はハチがいる関係もあり、安全性の高いものを使用しているのも特徴の一つです。

トマトに最大限に光合成を行わせる為には大気中の二酸化炭素だけでは不足するので、温室の中に「炭酸ガス」を入れて必要な量を補います。また、今年は新たに設備投資をして「細霧冷房」を導入しました。外でミストを出して風に乗った空気は側窓から温室に入り、ハウス内の温度を下げる効果があります。

温室内は昼夜コンピュータで制御しています。栽培面積が広くなると「環境制御装置」を使い、しっかり取ったデータを基にして管理をしていかないと難しいと思います。

■病害虫の被害対策として

例えば一つの畝に危ない病気（接触感染する病気）が出た場合、ハサミを介して移してしまうので、その畝だけで被害を抑えるために病害虫の衛生管理目的で畝毎にハサミを用意し、病気の拡散防止を徹底しています。

■平洲農園で作るトマト

今年はカゴメの主力商品の「ラウンドレッド」と「高リコピントマト」の二種類を半々位に栽培しています。加工用のトマトではなく「カゴメブランド」の青果トマトとして市場に出荷しています。

■今後の目標について

今は十一月まで栽培をきっちりやり、しっかりと出荷をしていくことです。勿論、山形県でトップを目指します。全国には他にも大規模な農園や菜園がありますが、私はしっかりと結果を残して実績を作り、山形のトマトと言えば「平洲農園」と皆様に分かっていただけるようになりたい。単なるトマト屋さんでなく、トマト作りの確かな技術と卓越した精神を持つプロ集団を目指しています。

選果場での作業

収穫されたトマト

編集後記

編集にあたり、ご協力いただいた皆様にお礼申しあげます。

さて、今年も七月の豪雨により管内の施設が被害を受けました。当土地改良区では、佐貫理事長を中心に県及び国に対して支援を要請しながら、復興に取り組んでいるところです。

関係する皆様には、更なるご理解とご協力をお願い申しあげます。

終わりに、今号に関するご意見・ご感想、次号に向けての情報等をお待ちしておりますので是非お寄せください。

（編集委員　大友　学）

◆発行日／令和二年十一月二十七日　◆編集／米沢平野土地改良区　〒九九二―〇〇一二　米沢市金池五丁目九番五号　☎〇二三八―二三―〇〇一五　◆印刷／株式会社　川島印刷

RICE INK　この印刷物は大豆油にかわり米ぬか油を使用したライスインキで印刷しています。